

【異物混入】高知 小学校の給食に異物 たばこフィルターの巻紙か


※写真は記事より転載。

6月3日、高知市内の小学校で、給食にたばこのフィルター部分の巻紙とみられる紙切れが混入しているのが見つかりました。今のところ、健康被害の報告は入っていないということで、市の教育委員会は混入のいきさつや原因を調べています。

高知市教育委員会によりますと、3日、潮江小学校で4年生の児童1人が給食で出されたチキンビーンズの中に、折りたたんだ状態の紙切れが入っているのに気づきました。

紙切れは、縦2.5センチ横2センチほどの大きさで、学校で確認したところたばこのフィルター部分の外側の巻紙とみられるということです。

教育委員会によりますと、紙切れが見つかったあと、そのクラスではチキンビーンズを食べるのをやめたということで、今のところ、健康被害の報告は入っていないということです。

潮江小学校では、給食の食材は業者に納入してもらい学校内で調理をしているということです。

混入の経路は今のところ分かっていませんが、これを受けて教育委員会は学校側に対し、食材を受け取った際は検品を徹底するよう伝えたということです。（引用転載：高知 NEWS WEB 2025/06/04 15:52 より一部抜粋および追加）

異物混入リスクのある工程・経路を明らかにし、速やかな対応、対策を。

上記の異物混入事故では、給食のなかにたばこの巻紙が混入したものが提供されました。発覚後、混入があったクラスではそのメニューの提供が中止されました。給食は校内で調理されており、学校と市の調査によると調理員に喫煙者はいません。学校の敷地内は禁煙であることから、調理段階での混入可能性は低いという見解です。また、混入のあった原材料の納入調査では、原材料の納入状態は確認できたものの、どの食材に紛れ込んでいたかは特定できていません。

原因分析のためのチェックポイント

問題となった事象	原因を考えるポイント
給食に混入した たばこの巻紙	① 危害要因分析ができていないか。具体的な対策が実施されているか。
	② 原材料の受け入れ時のチェックは十分であったか。

対策案

食品の安全性を確保するためには、HACCPにおける危害要因分析が必要です。**危害要因分析により、製造工程中の異物混入、食中毒の原因となる微生物汚染を明らかにし、必要な対策を講じます。**危害要因分析をしながら一般衛生管理を適切に行うことが、より食品安全管理を高めるポイントとなります。

**提案するサービス
スマイルプロジェクト**

提案する理由

HACCPリーダー資格をもつ弊社社員が、現場を見ながらお客様のご要望や問題点を聞き取り、最適なブラシや清掃道具の管理方法、防虫対策などをご提案します。ブラシのプロが、お客様の品質の向上・生産性の向上はもちろん、従業員様の衛生意識から働きがいの向上にまでアプローチすることができます。食品工場で働く皆様が笑顔になるお手伝いが「スマイルプロジェクト」です。

(株)バーテックでは、このような事故の予防のため、食品製造業向けのブラシの提案だけでなく、現場の作業員から普段の清掃作業で求められている結果を得られているかなどを聞き取り、清掃マニュアルをはじめとする食品製造現場の衛生管理レベルの向上をお手伝いしています。まずは、**弊社営業担当者、またはメールアドレス（is@burrtec.co.jp）**までご相談ください。